

—特別寄稿—

滋賀医科大学における看護学研究の推進に向けて
—女性研究者による研究を花開かせるために—

尾松万里子

滋賀医科大学学長補佐（女性研究者支援担当）
医学科・生理学講座・細胞機能生理学部門

文部科学省の平成 24 年度科学技術人材育成補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の実施機関として本学が選定されたことは記憶に新しいニュースの 1 つであると思います。この事業は、「女性はその能力を最大限発揮できるよう、出産・子育て等のライフイベントと研究を両立するための環境整備を行う取り組みを支援する」という目的のもとに設置されたものです。このような背景において、私は平成 24 年 9 月 16 日付で学長補佐（女性研究者支援担当）に任命され、女性研究者支援専門委員会および女性研究者支援チームを担当することになりました。また、基礎看護学講座教授として長年にわたり看護学科の教育・研究に尽力されてきた本学名誉教授・今本喜久子先生が特任教授としてチーフコーディネーターに就任され、組織としての形が整いつつあります。

看護学の対象には、看護全般、医師の診療補助、および健康的な日常生活援助等が含まれるため、その研究活動の場は、病院・診療所、施設、家庭、そして地域社会と多岐にわたっています。また、その研究手法もアンケート調査等の量的研究、インタビュー調査等の質的研究、症例を中心とした事例研究、お

よび実験を伴う実験研究と様々であり、医師を始めとする幅広い分野の専門家と共同研究する事が多いのが特徴であると思います。一方、医療現場における高度化、専門分化が進んでいることから、看護の質の向上を図るために資格認定制度が発足し、滋賀医科大学附属病院においても多様な専門領域に専門看護師、認定看護師というスペシャリストが配置されています^{1,2)}。本学では、このような看護体制の充実とともに多くの看護学研究がなされてきました。その中には、大学病院では初めてのケースとなる看護師による専門外来「リンパ浮腫外来」の開設³⁾という形で実を結んだものもあります。

滋賀医科大学看護学ジャーナルは、外部からのアクセス数値が高いことから、学外の医療関係者ならびに医療に関心のある方に広く読まれていると思われ、本学の看護学研究に対する関心の高さを示しているといえます。このように幅広く閲覧されている本ジャーナルに質の高い論文を多く掲載していくことは、看護学研究で得られた知見を患者さんや地域の方々に還元するという大きな目的の 1 つを遂げる手立てとなります。また一方、優れた研究成果を世界に発信することも重要な課題

になってきます。電子ジャーナルである滋賀医科大学看護学ジャーナルは、世界のどこからでもアクセスして閲覧することができるため、英語論文の掲載数を増やしていくことも今後の目標になると思います。

本学では、男女共同参画推進の理念のもと、種々の取り組みがなされてきています。その詳細な活動内容は、滋賀医科大学男女共同参画推進室ホームページに随時掲載されていますが、ここにその一部を紹介します（表1）。

表1. 本学における男女共同参画事業の一部

子育て支援	学内保育所「あゆっこ」内に 病児保育室設置
	搾乳室の設置
相談制度	相談窓口の開設
	メンター制度の導入
学内交流	SUMS-なでしこネットの立ち 上げ
学外機関*	シンポジウムの開催
との連携等	関連図書の展示・貸し出し

*滋賀県内 12 大学を含む

病児保育室や搾乳室の設置は、学内の多数の女性教職員からの要望に答える形で実現しました。SUMS-なでしこネットは女性だけでなく男性からも参加登録の希望がある学内ネットワークであり、定期的に交流会（茶話会）を開催しています。また、附属図書館における約 100 冊の男女共同参画関連図書の展示・貸出サービスは本の種類を入れ替えながら実施しています。今までに多くの図書が貸し出

され、貸出数の多かった 9 冊の図書を大学で購入して附属図書館の蔵書としました。現在、本学において女性研究者を支援するためにどのような取り組みをすればよいのかを調査検討している段階にあり、学内からの意見・要望等を広く募集しています。

看護学領域の仕事を担う大半は女性であり、女性研究者がその能力を発揮できる環境を整えることは、大学全体の研究を活性化することに繋がります。滋賀医科大学における看護学研究の更なる向上と発展に寄与できるよう支援していきたいと思っています。

謝辞

本稿執筆にあたり、看護学研究の概要に関して、臨床看護学講座・桑田弘美教授に御教示いただきましたことを感謝いたします。

文献

- 1) 専門看護師のご紹介：プロフェッショナルナース, 滋賀医大病院ニュース, 30(3), 2011.
- 2) 田崎亜希子：がん化学療法看護認定看護師の役割について. 医大ニュース, 16, 20-21, 2010.
- 3) 作田裕美：看護師の専門性を生かしたケアで注目される「リンパ浮腫外来」. 医大ニュース, 12, 6-8, 2008.